

## 新しい文法形式「まである」の意味と構文的特徴

中山健一（茨城キリスト教大学）

### 1. 目的

「まである」には、「会議が10時から12時までである」「その店には国内製品だけでなく、珍しい海外製品まである」のような助詞（副助詞）「まで」と存在を表す動詞「ある」では解釈できないような使用例がある。

- (1) 観音寺市の港近くにある「伊吹いりこセンター」の濃厚伊吹そばは、人生で食べたラーメンの中で一番うまかったまである（X（旧Twitter）から）

例(1)は、述語が名詞ではなく、また、「まである」がなくても文としては成立し、助詞「まで」と存在動詞「ある」では意味が解釈できない。

本発表では、この種の「まである」を新たな1つの文法形式とみなし、主に、その構文的特徴と意味を分析する。以下「まである」形式と呼ぶ。

「まである」形式がいつごろから使われ始めたかは不明だが、社会的に認知されるようになったのは2020年ころである。2020年には三省堂の「辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2020」」という企画で10の新語の1つに選ばれている。その後、SNSなどを中心に、現在も廃れることなく使用されつづけている。

新語・流行語の多くは、数年という短いスパンで廃れていく。その中で「まである」形式は、使用者が若年層中心と考えられ、かつ、くだけた文体でしか使用されないという制約があるものの、比較的長い間使用され続けている。

### 2. 先行研究

管見の限り、書籍・論文としてまとめられている先行研究は見あたらず、上述の三省堂の企画の選考委員である小野正弘氏、飯間浩明氏の解説記事（小野2020、飯間2020）が唯一の先行研究である。

小野（2020）は「まである」形式の意味を「ある予想や基準をこえたことをおこなう。また、そのような状態である」と規定している。

また、飯間（2020）は、「「まである」は「ワンチャン」（＝もしかすると）と親和性が高い」一方で、「かもしれない」の意味が弱く、「まで」が程度の強調とみられる例もあり、「「～かもしれない」と解釈される場合、「～ほどである」と解釈される場合、およびその混交の場合がありそう」であるとしている。

先行研究では、本発表で「まである」形式と呼ぶような、助詞「まで」と存在動詞「ある」とでは解釈できない「まである」が確認できること、その意味として、「かもしれない」に近い可能性を表す場合と、「ほどである」に近いある基準を超えている、または、極端な状況を表す場合があることが指摘されている。

### 3. 調査方法

#### 3.1 実例収集方法

前述の通り、「まである」形式がある程度広く使われ、知られるようになったのが2020年ころであるため、BCCWJなど既存のコーパスでは調査できない。今回は、日本においても多くのユーザーを擁するSNSツール「X(旧Twitter)」から実例を収集した。

収集には、「X」が提供する「詳細検索」機能を使用した。正規表現(regular expression)には対応していないので「まである」「まであった」「まであって」「まであり」「まであれ」で完全一致検索した。ヒットしたものから当該文字列を含まない広告と、そもそも助詞「まで」と動詞「ある」ではない例(「遅くまでありがとう」など)を除外したものを調査対象とする。検索した日は2023年7月31日である。検索に際し、期間指定はしなかったが、出てきた例はすべて、2023年6月から7月投稿の例だった。

実例総数は、3175例だった。そのうち、助詞「まで」と動詞「ある」では解釈しにくい例710例を本発表の言う「まである」形式とする<sup>1</sup>。実例数は以下の表のとおりである。

表1 実例数

検索文字列	まである	まであった	まであって	まであり	まであれ	合計
対象数	922	862	600	672	119	3175
助詞+動詞	371	815	589	571	119	2465
まである形式	551	47	11	101 <sup>2</sup>	0	710

#### 3.2 SNSから実例を収集する問題点

一方で、田野村(2008)が指摘するように、インターネット検索サービスはいわばブラックボックスであり、実例数をそのまま鵜呑みにできない可能性がある。それは、Xの検索機能も同じである。実際、2023年7月中旬から下旬に1週間に一度3回、検索を試みたが、ヒット数はまちまちであり、かつ、1週間の投稿数の変動だけでは説明できないほどの差があった。今回は、その中で、最もヒット数が多い2023年7月31日の検索結果を調査対象とした。

今回収集した実例が存在すること、特に、以下の分析で示す「構文的な型」が存在することは事実だが、しかし、実例数、特に、「構文的な型」ごとの実例数が、実際の使用頻度の相似形となっているのか、疑問の余地が残る。

また、SNSという性質上、書籍などと違い、規範的な日本語とは程遠く、文の意味解釈が非言語的な状況に依存していて、その投稿だけをとりだすと意味がつかみにくい例もあった。また、これはSNSの問題ではないが、発表者自身は「まである」形式を使用しないため、使用者としての直観が働かないことも、一部の文の意味解釈に困難が生じることに拍車をかけた。

<sup>1</sup> 後述、例(19)(28)(29)のように、名詞の場合もあるので、一概に「まである」の前の品詞で選別することはできない。

<sup>2</sup> そのうち「までありそう」が90例だった。

しかし、またその一方で、ある文法形式の意味を記述する際には、多くの実例から帰納的に、意味を支える構文的特徴、典型的な「構文的な型」を抽出することを出発点にし、その上で、典型的な「構文的な型」には厳密には合致しないものを周辺例として位置づけていくしかない<sup>3</sup>。特に、本発表で扱うような、新しい文法形式で、自身の直観に頼れない場合はなおさらである。

発表者自身の直観に頼れないという点を補うべく、必要に応じて、「まである」形式を日常的に使ったり見聞きしたりする若年層（関東在住、大学生、20歳前後、女性、4名）に、発表者の分析結果、および、各実例の意味解釈が、自身の直観に合致しているか尋ねた。本発表の分析結果は、そのききとり調査の結果も反映されている。

## 4. 分析結果

### 4.1 使用場面、文体、使用者の属性

実例は、個人の発信のみで、企業・団体等の公式の声明の例はない。したがって、使用は私的な、くだけた場面のみであると言える。また、そのこととかわかって、文体は、常体がほとんどである（710例中、敬体は2例のみ）。

世代や地域といった使用者の属性は特定できなかったが、言及される内容から若年層が多いことが推測される。

### 4.2 終助詞化の兆し—形態的特徴、節の種類—

上記の表1からわかる通り、形態的特徴として辞書形「ある」が圧倒的に多い（約78%）。そのことと関係して、本来動詞「ある」の過去形は「あった」であるにもかかわらず、「まである」形式の過去形は「～まであった」（例(2)）だけでなく、「～たまである」（例(3)）も多くみられた。実例数は、「～まであった」が47例、「～たまである」が90例であった。

(2) 柿餅子おいしいよね…ガキの頃東北方面のお土産で一番好きまであった

(3) 観音寺市の港近くにある「伊吹いりこセンター」の濃厚伊吹そばは、人生で食べたラーメンの中で一番うまかったまである（例(1)再掲）

次に、節の種類について、710例中645例、約91%が主節であり、圧倒的に多い。

この2つの事実、すなわち、「ある」の活用のバリエーションの低さと主に主節で使われることから、言わば終助詞的に使われる傾向があると言える。

### 4.3 意味と構文的特徴

以下、本発表の主な論点である、意味と構文的特徴について述べる。

結論を先どりして言えば、分析の結果、「まである」形式には先行研究が指摘する2つの意味があることが確認できた。その上で、本発表では、その意味を支える構文的特徴、典型的な「構文的な型」がとりだせることを述べる。また、そこから、「まである」形式の意味を次のように細分化し、再規定ができることを述べる。

<sup>3</sup> 「構文的特徴」を考えるにあたり、茶谷（2014）の第3章、第4章を参考にした。

表2 「まである」形式の意味と構文的特徴のまとめ

<p>&lt;意味A：極端さ(612例)&gt; 「～とさえ言える」「～と言っても過言ではない」に近い、度を越えている、極端であることを表す</p>
<p>A-1：常識や一般的な感覚と逆の評価・判断としての極端さ(300例)</p> <p>①【 ～、逆に／むしろ [形容詞など状態性述語] まである 】</p> <p>②【 Aより Bが [形容詞など状態性述語] まである 】</p> <p>③【 ～ために／～したくて／～したいから／～したいがために [動詞] まである 】</p>
<p>A-2：程度過剰としての極端さ(302例)</p> <p>④【 Aが一番 [形容詞など状態性述語] まである 】</p> <p>⑤【 ～すぎて [形容詞など状態性述語] まである 】</p> <p>⑥【 ～、もはや／なんなら [形容詞など状態性述語] まである 】</p>
<p>A-1、A-2にまたがる例(10例)</p>
<p>&lt;意味B：可能性(56例)&gt; 「～こともありうる」「～かもしれない」に近い、可能性はそれほど高くないが、ゼロではないを表す</p> <p>⑦【 ワンチャン [動詞・動作性名詞] まである 】</p> <p>⑧【 ～したら／～すれば等 条件節 [動詞・動作性名詞] まである 】</p>

むろん、すべての実例が上記の典型的な型に合致するわけでない。そのため、各「構文的な型」の実例数を「数字(数字)」のように示し、左にその構文的な型に合致する例、右に構文的な型に厳密に合致するとは言えないが、周辺例として位置づけられる例も加えた数を示す。紙幅と時間の都合上、すべて説明できないが、特に周辺例として位置づけられる実例が多い項目では、どのような例が周辺例と位置づけられるか、述べる。

A-1とA-2にまたがって複数の構文的特徴を持つ文(10例)、A-1、A-2の中で複数の構文的特徴を持つ文(A-1の中に8例、A-2の中に13例)もあるため、表2で示した実例数と、以下の各「構文的な型」で示す実例数の和は必ずしも一致しない。

以下、意味と構文的な型について順にみていく。

#### <意味A：極端さ>

##### A-1：常識や一般的な感覚と逆の評価・判断としての極端さ

#### ①【 ～、逆に／むしろ [形容詞など状態性述語] まである 】65例(115例)

- (4) それで食われちゃって当時は納得いかなかったけど、今となっては「知る人ぞ知るマイナーな名作」みたいになってて逆に嬉しいまである
- (5) 毎月Huluからの請求メールが来るけど、美しい彼へのお布施だと思っているのでむしろ嬉しいまである
- (6) ピーターズさん(注：プロ野球選手)細かい離脱はするけれど、長期で居なくならないから全然良いよね。むしろ無理せずに不調を伝えてくれるだけ良いまである

副詞「逆に」「むしろ」を伴う。この場合、「まである」形式で示される評価・判断が、常識や一般的な感覚では考えにくく、その点においてその評価・判断が極端であることを表す。

例(4)において、好きな作品の人気が出ないこと、例(5)において、好きな芸能人が出演する番組を多く見ることで経済的負担が増すこと、例(6)において、選手が試合に出られなくことはふつう望ましくない。しかし、そういった通常感覚に反して、別の見方をすれば「うれしい」「よい」とさえ言えるということが表される。

周辺例として位置づけられるものは、たとえば次の例である。この例では明示的に「むしろ」「逆に」という副詞を伴わないが、「暑さにホッとする」という通常とは異なる評価・判断が表されている。また、形容詞ではなく動詞だが、感情を表す状態動詞である。

- (7) 外の暑さはもちろんだけどビルの中の強い冷房にやられちゃう一瞬で冷えるあの  
 感じで凍えて外の暑さにホッとするまである

**②【Aより B(のほう)が [形容詞など状態性述語] まである】91例(91例)**

- (8) むしろ普通のカルボナーラよりうまいまである 1皿98円で出来る極限まで無駄  
を削ぎ落とした究極のとろとろカルボナーラ
- (9) KinKi ちゃん(注: 男性アイドル)、CDよりもコンサート音源の方が歌上手いまで  
 あるな普通に……
- (10) ゆきみ大福買って運転しながらコーヒー飲んでたら存在忘れて溶けた! これはこ  
 れで美味しいやん!溶けた方が美味しいまである

二者における程度の比較を表す文に使われる。述語は形容詞が多い。例(10)は単文中に比較の二者が示されていないが、「溶けた状態」と「溶けていない状態」との比較である。この場合、常識的には「普通のカルボナーラ」「CD音源の歌唱」「溶けていないアイスクリーム」のほう「程度大」とされるが、それとは逆の評価・判断を下している。また、そのため「逆に」や「むしろ」を伴う例も見られた(例(8))。

**③【～ために／～したくて／～したいから／～したいがために [動詞] まである】**

**109例(112例)**

- (11) コメダ珈琲このバグってる かき氷を食べる為に今週がんばったまである
- (12) これが撮りたくて本土行ったまである VX-9 所属機のローレベル、感無量でした
- (13) おまけこのシーンが書きたいがために本文を書いたまである

前件で示されたことが目的、動機で、「まである」形式で表される行為を行うことを表す。例(11)の「がんばる」、例(12)の「本土へ行く」、例(13)の「本文を書く」目的、動機はさまざまあるにも関わらず、「かき氷を食べる」「写真を撮る」「特定のシーンを書く」ことだけを動機、目的に挙げている。このように、常識や一般的な感覚での目的・動機とずれている、あるいは、多様な目的・動機が考えられる中で、極めて小さいピンポイントな目的、動機からある行為を行うという、極端さを表す。そのため当たり前の目的、動機と行為の関係の例(「留学するために韓国語を勉強しているまである」など)はなく、かつ、不自然な

例となるだろう。

また、意味にかんして、前件で示される物事に対して、極めて良い、価値があるという評価・判断をしているとも言える。

#### A-2：程度過剰としての極端さ

##### ④【 Aが 一番 [形容詞など状態性述語] まである 】79例 (81例)

- (14) 柚餅子おいしいよね…ガキの頃東北方面のお土産で一番好きまであった (例(3)再掲)
- (15) 観音寺市の港近くにある「伊吹いりこセンター」の濃厚伊吹そばは、人生で食べたラーメンの中で一番うまかったまである (例(4)再掲)
- (16) 練習生時代の毛利小雪 (注：女性アイドル) ほんと好き なんなら練習生時代が一番好きまである

あるものごとが、最上級に、述語であらわされる性質・状態であることを表す。述語は「好き」「うまい」「かわいい」「かっこいい」「たのしい」など、話し手の主観的な評価にかかわる形容詞が来る。客観的事実を述べた文、たとえば、「富士山は日本で一番高いまである」のような例はなく、かつ、おそらく不自然な使用であろう。人によってさまざまな評価がありうるようなことに対する主観的な評価において、それが極端な評価である場合に使われる。後述の⑥で述べる「なんなら」を伴う例も見られた。

##### ⑤【 ~すぎて、 [形容詞など状態性述語] まである 】61例 (107例)

- (17) 足長すぎておもしろいまである
- (18) ダンスが揃いすぎてるから怖いまである
- (19) 大山さんのホームラン相変わらず弾道綺麗すぎて、もはや芸術まである

前件で、ある性質・状態が度を越えていることが示され、その結果、「まである」形式であらわされるような通常とは違う極端な評価・判断をください、または、極端な状況になってしまうことを表す。そのため、すべてでないが副詞「もはや」を伴う例がみられる。

この型の周辺例としたものが多いが、たとえば、次のような例である。

- (20) コストコ初心者でてんしょん爆上がりで下品まである

例(20)は、明示的に「~すぎて」を伴わないが、文の意味を考えると前件で「気持ちの高揚」の程度が過度であることが述べられており、その点では、例(17)～(19)との共通点が見いだせる。そのことから、⑤の周辺のなものと位置づけられると考える。

##### ⑥【 ~、 もはや／なんなら [形容詞など状態性述語] まである 】97例 (138例)

- (21) 喉にすんごい何か詰まった感じするもはや痛いまである
- (22) この間暑すぎて簡易クーラー注文して届いた日からめちゃくちゃ涼しい…なんなら寒いまである

(23) お腹は痛いし胃もたれもするし胸焼けもする、なんなら体調悪いまである。そろそろホントにラーメン禁止するかまよう。

副詞「もはや」「なんなら」とともに使われる例がある。「なんなら」は、規範的な意味ではなく、例(22)、(23)からわかるように、この場合、「なお言えば」「さらに言えば」「さらには」に近い意味で用いられる<sup>4</sup>。いずれも、程度が大きく、そのような極端な言い方をしても過言ではないという意味である。

⑥の周辺例は、たとえば次の例である。「もはや」「なんなら」はないが、類似性が確認できる。

(24) え、今日涼しいノースリーブでベランダ出たら寒いまである

#### A-1、A-2にまたがる例(10例)

多くはないが、A-1、A-2どちらの構文的特徴も併せ持ち、両者にまたがる例も見られた。たとえば、例(25)は、比較の構文で、ふつうの感覚(化粧しない姿より化粧した姿のほうがきれいである)と逆の評価・判断をしている点でA-1の②に該当すると同時に、前文で「美しすぎない？」とあり、容姿端麗である性質が過度であることが示される点でA-2の⑤に該当する。

(25) 宮脇咲良さん(注：女性アイドル)、すっぴん美しすぎない？化粧した姿より綺麗まであるよ

次の例は、A-1の③とA-2の⑤、さらには、A-2の⑥の構文的特徴を併せ持つ。

先のA-1の③で述べた通り、目的・動機と行為の関係が通常と異なるという極端さを表しているが、同時に、その目的・動機となる事柄が過度の良い、価値があると評価・判断しているという面も持つ。そのため、程度過剰としての極端さの構文的特徴、「～すぎる」「もはや」をともなう。

(26) やっぱり撮影会は楽しすぎた！【中略】もはや撮影会とくじのために毎月頑張ってるまである

#### <意味B：可能性>

##### ⑦【ワンチャン [動詞・動作性名詞] まである】8例(38例)

「もしかすると」に近い意味を表す副詞「ワンチャン」を伴い、可能性を表す。

(27) ワンチャンみんな忘れてるまでありそう

(28) ワンチャン閉店まであったけど腹へりすぎてさすがに持たん笑楽しかったです！

<sup>4</sup> 「なんなら」の従来の規範的な意味ではない、新しい意味については、島田(2018)で詳しく述べられている。

周辺例として、例(29)は、副詞「ワンチャン」を伴わないが、力士が優勝する可能性を述べている点で、可能性の意味である。

(29) 伯桜鵬、新入幕で2桁勝星きたあ 優勝までであるぞ

**⑧【条件節 [動詞・動作性名詞] まである】18例 (18例)**

前に条件節を伴い、その条件下なら、後件が起こる可能性があることを表す。

(30) (注：子の保育園の送迎を)「やっていない人だけが父親の育児参加に気づかず取り残されている」ってフェーズも通り過ぎて、今ややっていないと白い目で見られるまでであるよね。

最後に、意味Bの実例数、形態的特徴について述べる。まず、実例数では意味Bより意味Aがはるかに多かったが、ききとり調査では意味Bでもよく使われるとの指摘を受けた。よって、今回の調査だけで、意味Bの使用頻度が低くなっているとまでは言えない。また、形態的特徴について、実例では例(27)のような「までありそう」の例が比較的多く見られたが、ききとり調査では意味Bの場合も「そう」が見つからないのが普通であるという指摘をうけた。今回の調査だけで、意味Bの場合、「までありそう」の形をとるとまでは言えない。

## 5. 今後の課題

実例分析を通じて、4節で示した結論、特に、4.3の表2で示した結論を得た。

一方で、言語的手がかりが乏しい例、そもそも文意(内容)がわからない例など、分類できない例が42例あった。また、前述の通り実例数が実際の使用頻度を本当に反映しているかは疑問の余地がある。新しい文法形式や表現の記述をする際、SNSのデータは非常に有用と考えるが、問題点も多い。この点をどう克服するかは今後の課題である。

## 謝辞

実例の分析にあたり、ききとり調査に協力してくださった、茨城キリスト教大学 文学部 文化交流学科、中山ゼミの学生諸氏に感謝申し上げます。

## 参考文献

- 飯間浩明(2020)「X(旧Twitter)」2020年12月4日投稿メッセージ(最終閲覧日2023年8月10日) [https://twitter.com/IIMA\\_Hiroaki/](https://twitter.com/IIMA_Hiroaki/)
- 小野正弘(2020)「まである」三省堂「辞書を編む人が選ぶ「今年の新語2020」」(最終閲覧日2023年8月10日) <https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo/2020/best10/>
- 島田泰子(2018)「副詞「なんなら」の新用法」『二松學舎大學論集』61, pp.1-23.
- 田野村忠温(2008)「日本語研究の観点からのサーチエンジンの比較評価」『計量国語学』26-5, pp.147-157.
- 茶谷恭代(2014)「現代日本語の副詞の研究 ―副詞「よほど」における程度性・評価性・叙法性―」東京外国語大学博士論文